

留学報告書

～国を超えた価値観と文化の違い～

ボーリンググリーン大学
外国語学部生（長期）

留学に行く前まで思い描いていたものと留学を終えて学んだことは少し違います。私は大学入試の勉強を始めるまで怠惰な生活を送ってきました。あることをきっかけに大学入試は一生懸命励むようになりましたが、志望校に受かることはできませんでした。この経験をきっかけに大学では無駄な日々を過ごさないようにしたいと思っていました。なにか刺激のあることをしたいと考えたところ自分は外国語学部なので英語力をもっと上げたいと思い、そして何より自分自身の成長につながることをしたいと思っていましたので“留学”と聞いたときにこれだと思いました。これまでのような後悔はしたくないという気持ちと大学の先輩の経験談や周りの人からの応援が自身のモチベーションに繋がり TOEFL の勉強を欠かさずに勉強することができました。そして入学当初から夢に見た留学を叶えることができました。留学に行く前は楽しさだけしか頭にありませんでした。

しかし実際に言ってみるとすべてが自分の思った通りではないということに気づきました。まず、アメリカに行くととても驚いたことはアメリカ人と日本人との考え方と授業に対する先生と生徒両方の姿勢の違いです。よくある例だと、日本人は他人に合わせようとして自己主張をしない傾向がある反面、アメリカ人は自己主張が強い人が多いです。どちらもいい意味でも悪い意味でも捉えることができますが、この正反対の考え方により何度か向こうの友達と口論になったことがありました。アメリカ人同士であった口論では、一度揉めるとお互いの自己主張が激しすぎて悪いところを言ったとしても認めようとせずいつまで立っても解決できない時がありました。自分自身が口論の対象になったわけではないのですが、第三者として仲介していたからこそ、日本人とアメリカ人との違いに気づくことができ、今まで考えたことのなかった面から物事を見るようになりました。

授業の違いは、アメリカの授業は生徒で寝ている人はいませんでした。ケータイを使っている人はいましたが、その人達でさえ、自身の意見を述べたり、少なくとも先生に耳を傾けています。先生はつねに生徒に意識を向け、事実がどうという話ではなく生徒の意見を重んじる授業が多かったです。そのためある授業では30人ほどいたのですが毎回の授業でほとんどの人が当てられ、自分たちの意見を言い合っていました。日本の教育レベルはアメリカより上だと聞いたことがありますが、常に目先のテストの結果しか頭にないような教育より、少し授業の内容からそれるようなことでも自ら質問をし、意見の交換をし合えるアメリカの授業構成は知識も身につくし、自身の積極性にも繋がるため自分自身も日本の教育もこんなふうに変わればいいなと思いました。そして、アメリカで受けていた授業の復習や宿題をしているときに感じたことがもう一つあります。それは日本の視野の狭

さです。わからない情報が出てきたときにまず日本語で調べていたのですが、web できがしでも youtube で探しても出てこない時が多々ありました。日本のことを調べているときでさえ、まともな情報を手に入れることができませんでした。しかし、それらを英語で調べるとすぐに欲しかった情報が手に入ります。最初は、英語で調べるときに比べ、日本の web 上にこれだけ情報が少ないのは人口の格差によるものなのかと思っていました。しかし、友達と自国の文化の話や政治の話をしていくに連れ、それが自国に対する興味関心の問題だということがわかりました。自国のことでなく海外のことに関しても同じです。

自分自身の留学を通して身についたことは行動力と視野の拡大です。行動力がついた大きなきっかけの一つは、日本語クラブでのイベントです。このクラブでは日本の祝日や文化的な日にプレゼンテーションやイベントを開きます。3月にはお花見イベントが有りました。それは学内の人だけでなく一般の方や日本人を招いたイベントでした。私は習字担当で多くの子供や外国人に書き方を教えました。もともと全く知らない人に声をかけることは得意ではありませんでしたが、このイベントを通して前ほど躊躇しなくなりました。なぜならこのイベントには合計 800 人以上来て、その大多数の人が習字をしに来ました。その人数を数人でさらに教える日本人は私を含め 2 人しかいなかったためとても大変でした。ここまで忙しいと話しかけることが恥ずかしい、ということも考えている余裕もありませんでした。さらに習字をしに来てくれた人たちは決まって最後にありがとう、や楽しかったと言ってくれました。とくに外国人の人からしたら初めての経験だと思うのでいい思い出になったのかと思います。そういった人達の顔を見て、次第にもっと多くの人を呼び、日本の文化を体験して帰ってほしいと思いました。このイベントでは知らない人にも話しかけに行くという行動力もついたら同時に、日本の文化や教えることの楽しさを知ることができました。その他にも一人で旅行に行ってみたり、友達の友達に話しかけてみたり、隣の部屋の人を遊びに誘ってみたり、この留学は自身の成長のためだったので努力しました。

視野が広がったのは、ただ現地の友だちと話したからです。私がいつも一緒にいた人は少し周りの人と比べて変わっている人が多かったのですが、それが私の視野を広げた大きな理由だと思います。一般的な考え方を持っている人と話すこともいいと思いますがそうでない人と話すことで、物事をより様々な面から見ることができます。最初に言ったとおり日本とアメリカという正反対の考え方を持った人同士で話すことはなにより視野が広がると思います。他にも私のルームメイトのおかげで視野を広げることもできました。日本では当たり前になっていることがアメリカではそうではないため、彼に対する不安もありました。例えば、部屋で勉強しているときに友だちを連れてきてゲームをしたり、夜遅くに友達と電話したり、日本では考えられないことばかりするルームメイトでした。しかし、他の留学している日本人の友達と話すとみんな決まって同じようなことを言います。そこで初めてこれは文化の差なのかと感じました。こういった小さいことでもそれが積み重なっていったため、まず否定から入る前にそのことに対して考えられるようになりました。

留学の前学期には不安なことも多々あったのですが、全て通して自分のためになったと思います。留学に行く前から行った後まで、ずっと周りの人が応援してくれて、支えてくれてこの留学では感謝するという当たり前に大切なことも実感しました。